

登録コード	A3244100	開講年度	2026					
授業科目	動物科学体験ゼミ						担当教員	上野 豊
英文授業名	Hands-on Seminar on Animal Science							
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	動物資源生命科学コース学生	
講義室	共通教育 6 1 講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	教員連絡先：上野 豊 (ytkuyeno@shinshu-u.ac.jp)
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前加付対象】豊かな人間性と幅広い教養を修得している					研究室で活動していくにあたって必要な素養を修得できるようになる		
	2 0 2 6 A3 編 (24A), 2 0 2 5 A3 編 (23A), 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前加付対象】豊かな人間性と共通教育による幅広い教養を築き、農学の専門分野における基礎学力を修得している。					研究室で活動していくにあたって必要な素養を修得できるようになる		
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	本ゼミでは各研究室での説明と質疑を通じ、研究室分属後の学修と研究への関心を高める。さらに、動物資源生命科学コース教員や先輩学生とのディスカッションを行って交流を深める。							
(5)授業計画	研究室分属に先立つ研究室訪問の機会を利用して、コース内各研究室で行われている研究の説明を受けるとともに課題に取り組み、専門研究への理解と関心を高める ・コース研究教育内容に関する説明 ・教員・先輩学生とのディスカッション ・課題レポート							
(6)自主学習の指針	訪問する研究室の研究内容について主体的に興味・関心を持ち、自ら質問したり調べたり、あるいは教員や先輩学生と議論することが重要です。							
(7)成績評価の基準	ゼミへの取り組みや課題レポートを、次の基準で評価します。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある 可：授業の達成目標の水準にある 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある、またはかなり下にある							
(8)事前事後学習の内容	事前学習として、訪問先研究室研究内容への理解に努め、質問などを用意してから研究室を訪問してください。各研究室から学術論文等が提示された場合は、事前学習として目を通しておいってください。課題レポートの作成や、同期・先輩学生らとの交流の継続を通じて、今後の学修が深まることを期待します。							
(9)テストやレポートの予定	研究室訪問後の課題レポートの提出を必須とします。レポート課題は研究室ごとに課す予定です。							
(10)成績評価の方法	100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可、59点以下を不可とします。							
(11)質問、相談への対応および連絡先	個々の内容については各研究室教員に、 ゼミ全般については担当教員までメールで質問・連絡して下さい。							
(12)履修上の注意	・システム上共通教育機構講義室実施となっていますが、実際は伊那キャンパスで実施します。 ・コース研究室の研究内容を踏み込んで理解できる程度の基礎教養を必要とすることから、原則、当年度研究室分属対象学生に限定して受講可能とします。 ・どの研究室も、指導教員や先輩学生がスケジュールを合わせて訪問対応することになります。したがって、事前に十分準備をしてから各研究室を訪ね、訪問者・訪問先双方にとって有意義な時間となるよう心がけてください。							
【教科書】	指定しません。							
【参考書】	必要に応じ、各研究室から提示します。							